

『ぐっとくる文学のセリフ101』

あさの あつこ／監修 鈴木出版 Z159.8/アサ/2

作家・あさのあつこが、さまざまな文学の中からぐっとくるセリフを選び、「気づくことからはじまる!!」「生き方を考えよう!!」などのテーマ別に紹介する。各セリフの簡単な解説や作品案内も併せて掲載。

『はだしのゲンわたしの遺書』

中沢 啓治／著 朝日学生新聞社 Z726.101/ナカ/

原爆で父、姉、弟、妹を亡くした青年は、母の死をきっかけに戦争責任と原爆の問題に向き合う…。白内障で漫画家を引退し、肺がんをわずらう「はだしのゲン」の著者が、原爆の怖さと不屈の半生を、実体験をもとに語りつくす。

『18歳の読書論』

和田 渡／著 晃洋書房 019.2/ワタ/

読書は、おそらく心をやわらかく、しなやかにするトレーニングなのだ。大学の図書館長を務める著者が、学生時代にぜひ読んでほしい本を紹介する。阪南大学図書館HP連載「おすすめの一冊」の一部を編集して書籍化。

『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』

出雲 充／著 ダイヤモンド社
473.45/イズ/

ハイブリッドな生物、ミドリムシで、食料、環境、エネルギー問題をすべて解決！ 世界で初めて「ミドリムシの屋外大量培養」に成功し、ダボス会議「ヤング・グローバル・リーダーズ」にも選出された著者の奮闘の記録。

『文体トレーニング』

中村 明／著 PHP エディターズ・グループ Y816/ナカ/

いい文章はどうすれば書けるのか？ 書き出し、結び、発想、視点、レトリック、余情など、文体研究の第一人者が文章表現と効果のかかわりを具体的に分析し、その奥にある一般ルール、表現の心を解説する。

『やりなおし高校世界史』

津野田 興一／著 筑摩書房 209.6/ツノ/

「国民国家がどのようにしてできたか」「ファシズム誕生の理由」「戦争はどのようにして大規模化したか」など、世界史の大学入試問題から現代にもつながる8問をセレクト。それぞれの問題の解答から、いまの国際社会の全貌が見える。

『オレたちの明日に向かって』

八束 澄子／著 ポプラ社 Z913.8/ヤツ/

偏屈な老人、当たり屋の少年、不審な自動車事故…。保険代理店の今井さんと過ごすジョブトレーニングの日々は、さえない男子代表、花岡勇気の中の何かをすこしずつ変えていく。悩める少年たちのための青春ストーリー。

『あの雲を追いかけて』

アレックス・シアラー／著 竹書房 933.7/シア/

島が空に浮かび、太陽が足元にある世界。ある日、平凡なぼくのクラスにやってきたのは「雲を追う者」の少女ジェニーだった…。雲を狩る一族の少女と、ふつうの少年の、ひと夏の冒険物語。